

令和元年度公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	味方児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当課	南区役所健康福祉課		
所在地	新潟市南区味方679番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 1,327.0㎡ 建築面積 246.5㎡ 延床面積 246.5㎡ 構成施設の内容 1階 集会室 (40.00㎡), 図書室 (25.00㎡), 事務室 (20.00㎡), 遊戯室 (90.00㎡), トイレ (26.20㎡), その他 (45.30㎡)		

施設設置目的	
味方地域における地域児童の健全育成支援や育児不安に陥りがちな母親支援を目的として、子どもが自由に遊べる屋内遊戯の場と子育て支援を行う場を併せ持つ施設として児童館を設置する。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
運営理念	<p>子ども、親、地域住民が主体的に運営に参加し、地域子育て支援の拠点、地域コミュニティの核となる児童館を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族、地域住民が運営や活動に主体的に参加することを重視します。 ・納得できるまでの話し合いを重視し、情報の共有を進めます。 ・障がいのある人、他世代の人たちがともにある場の創造を目指します。 ・個別性を大切にし、新しいニーズに応える、柔軟で応答性の高い運営を目指します。 ・職員の主体的な働き方と、実践を通じた学習、事例検討、記録を重視します。
基本方針	<p>① 子どもたちの成長への貢献 地域での人と人とのつながりが希薄になっているなかで、児童センターには異年齢の子どもたちが、互いに教えたり教えられたりしながら、遊びあう姿があります。 児童センターにおけるあそびや活動を通じて子どもたちの成長に何よりも価値を置き、その取り組みを地域に広げます。そのためにも、子どもが自ら運営に参加し、主人公となり、育ちあう場を目指します。</p> <p>② 親の支援への貢献 家庭での子育ての不安、孤独、孤立を解消し、地域の中で親どうしの交流の場や学びの場、支えあいの場をたくさん創り出します。また、働く親の多様なニーズに応じて、仕事と子育ての両立を応援します。</p> <p>③ 地域の再生とまちづくりへの貢献 子どもたちの成長を地域で見守り、さまざまな世代の人たちの関わりのなかで子育てを応援していく「地域の人の関係の再生」が根本的なテーマであると考えます。 児童センターのさまざまな行事や講座などを通して、子育て支援に関心のある地域の方との出会いを広げます。そして、子ども・親・高齢者の三世代交流や、子育てをコミュニティで支えあう活動への地域の方たちの参加を広げます。また、近隣の地域で活動しているさまざまな団体・グループと協力しあい、子どもの安全や地域で見守るネットワークを築いていきます。そして、子育てしやすいまちづくりを地域のみなさんと一緒に進めます。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	行事だより、ホームページ等による児童センター活動に関する情報発信 2回以上/月	・毎月、区報『みなみ風』に行事の掲載。 ・毎月行事だより1回発行 ・毎月HPで情報発信 ・イベント時ポスター、チラシの掲示・配布 ・防災無線活用	B	行事だより、南区役所だより、ホームページを活用し積極的に幅広く広報活動を行っているため認められます。
	基準利用者数の達成	来館者数(年)(基準:30人×359日) 10,770人以上	年間来館者数 12,996人 1日平均39.6人 ※コロナウイルス流行のため開館日数が328日だったのでその日数で計算。	A	昨年度に引き続き、来館者数が増加し、指標も上回っています。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施 2回以上/年	・年10回以上実施(乳幼児イベント、なつまつり、ふゆまつりなど)	A	イベント開催時にアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めています。各イベントにおける満足度はいずれも高水準です。
	苦情・要望に対する対応	原則1週間以内の回答 苦情・要望の対応マニュアルの整備	・R元年度、苦情はなかった。 ・対応マニュアルは、ワーカーズコープとして整備されている。	B	マニュアルが整備され、職員間での意識も徹底されています。
	事業の実施	・乳幼児向け、小中高向け事業の実施数 4回以上/月 ・地域・関係機関との連携事業実施数 2回以上/年	・乳幼児向けとしてちびっこ広場を実施。1回/週 ・小学生向けとしてなかよし広場を1回/週実施。 ・中高生向けとして、イラストコンテスト、夕涼み会、クリスマス会などを実施。 ・工作行事を毎月幼児向けでは月1回、小学生向けでは隔月に1回行う。また小学生向けでは、おりがみを折る行事も隔月で1回行う。 ・子育てオーエンジャー☆みなみのメンバーと共催で「しゃべろっと」を隔月で年6回開催。 ・公民館・子育てサークル・ボランティア団体など連携して、なつまつり・ふゆまつり・ちびっこ運動会・ひなまつり会・子育て講座・新大アカベラサークルコンサート、食育講座など15回以上/年行う。	A	魅力ある事業を各利用者のニーズに応じ実施しています。地域とも密接に関わる事で連携が図られ、地域に定着しています。

財	務	業務の効率化	施設利用者1人当たり運営経費 1,750円以下	R元年度の指定管理料は年間16,422,666円 16,422,666÷12,996=1263.6 一人当たり約1264円となっている。	A	節電をはじめとする省エネ等により、経費の削減に努めています。
		設置目的の理解	・地域運営委員会の実施数2回以上/年 ・業務仕様書に定める事項の遵守 違反回数0回 ・建築設備の保守管理協定書に定める回数以上	・児童館運営協議会2回/年実施 ・仕様書を遵守し違反回数は0回。 ・設備の保守管理は協定書に定めてある回数を実施。	B	地域運営協議会を目標回数実施し、委員に積極的に意見を求め、事業運営に活かしていると認められます。また、定められた設備の保守管理を順守し、適正な管理に努めています。
業	務	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期報告	苦情や事故発生時などには、早期に担当課に連絡を取り、その後、苦情・事故報告書を提出している。今年度はなし。	B	苦情・事故発生時の早期対応や関係機関との情報共有に努めています。
		安全安心の確保	防災訓練実施回数年2回以上	火災・地震を想定した避難訓練・消火訓練を年2回行った。 ※さらに、それとは別に小学生向けイベントの中で職員による防災訓練も3回実施。	A	目的に応じた訓練を目標回数以上実施しており、危機管理意識の向上に努めています。
		コンプライアンスの確立	児童福祉法、新潟市児童館条例の遵守、個人情報等の守秘義務マニュアルの整備	・個人情報情報はパソコンや外部記録、媒体には記録せず、保管は施錠により保管。	B	個人情報の漏えい防止の取り組みを徹底しています。
		業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	・その他業務仕様書に定める事項の違反なし。	B	施設運営にワークスコープ本部も積極的に指導等で関与し、常に仕様書に定める事項の遵守に努めていると認められます。
人	材	配置人員条件の水準維持・育成の適切性	業務仕様書に定める人員配置 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度 年2回以上の研修参加	・業務仕様書に定めてある有資格者5人体制をとり、業務を行っている。 ・新潟市が行っている研修・連絡会に参加。子育てリーダー研修会やその他機関が開催する研修会に参加している。研修は1人が年2回以上参加している。	B	人員を適正に配置していると認められます。様々な研修会に参加し、人材育成にも努めています。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

開館し11年これまで、地域の方々の温かいご支援とご協力を受けながら、地域と一緒に児童館をつくりあげてきました。イベントにはたくさんの地域の方々、児童館でかつて遊んでいた中高生が積極的にボランティアに来てくれ、ともに盛り上げてくれています。中高生に至っては、イベント時だけでなく、日頃から年下の小学生・幼児さん達の面倒を見てくれたり遊び相手になってくれます。その影響からなのか、小学生達も幼児さん親子とおしゃべりを楽しんだり、お世話をしてくれる姿が頻繁に見受けられます。自分自身がしてもらったことをさらに下の世代に返していく、縦の繋がりの循環が見られ、非常に温かい雰囲気がつくれており、それが味方児童館の一番の魅力と感じています。味方地域に味方児童館がしっかりと根付き、受け入れられているなあと実感できてきた今日この頃です。現在、コロナウィルス禍でこれまで通りの運営ができず、地域に貢献できない歯痒い思いを抱えていますが、今この時だからできることを考え、創意工夫しながら状況に応じた運営をしていきます。そしてこれまで培ってきた関係を大切に、今後もニーズに応えながら、地域や利用者と一緒に味方児童館をつくりあげていきたいと思えます。

所管課による総合評価(所見)

施設の設置目的及び管理運営に関する基本理念・方針等を常に意識し、その他業務仕様書等に定める事項の遵守も徹底していると認められます。

幅広い年齢の児童が交流し、社会性や思いやり、コミュニケーションの取り方などを学べる場ともなっています。日常から異年齢の交流が深まる取り組みを実施しており、児童館の強みとなっています。また、地域や学校と密接に連携しており、地域に根差した児童館運営を行っていると思えます。

施設管理についても、省エネ・コスト削減の意識が高いと認められます。

今後も目標とする「子ども達と地域と共につくる児童館」を目指し、地域と密接に連携し魅力ある運営が期待されており、指定管理者として良好であると認められます。